

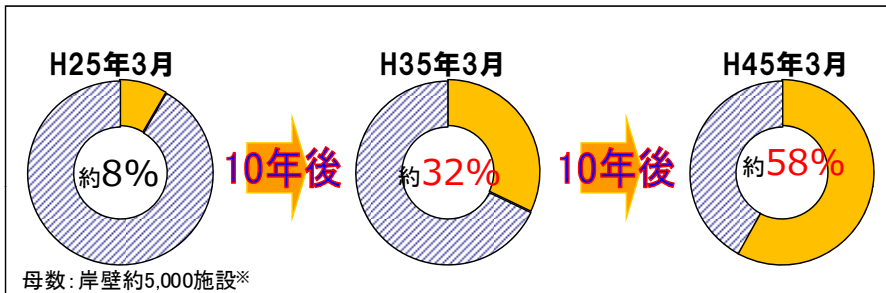
総論

・今後、急速に老朽化が進行する港湾施設について、現状と課題を踏まえ、ライフサイクルコストの縮減や施設機能を安定的に確保するため、設計・点検、計画から実施に至るまで、総合的かつ重点的に取り組む必要。

港湾施設を取り巻く現状と課題

① 港湾施設における供用開始後50年以上経過する割合が20年後には**58%に急激に増加**

＜供用後50年以上経過する岸壁の割合＞



※国際戦略港湾、国際拠点港湾、重要港湾、地方港湾の公共岸壁数（水深-4.5m以深）：国土交通省港湾局調べ

② 老朽化などに伴い、港湾施設の**約2割**において不具合が発生。

＜港湾施設の集中点検結果＞

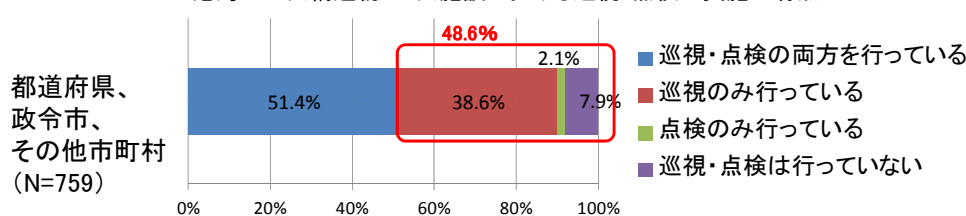


※平成25年 国土交通省港湾局調べ

(注) 不具合有りのうち、早急な措置が必要な施設については、立入禁止等による応急措置を含め対応済み

③ 技術力の低下、技術者不足等により施設点検が十分に実施できていない地方公共団体の割合は**約5割**。

＜港湾の公共構造物・公共施設における巡視・点検の実施の有無＞



※社会資本整備審議会交通政策審議会「今後の社会資本の維持管理・更新のあり方について答申」(平成25年12月より抜粋【地方自治体に対するアンケート調査(平成24年実施)】)

対応方針

ライフサイクルコストの縮減や施設機能を安定的に確保するため、港湾施設の所有者及び管理者が連携しつつ、様々な視点から、公共施設に留まらず民間施設を含めて、総合的かつ重点的に取り組む。

【設計・点検】

- 設計段階から施設点検が容易となる**設計手法の確立**
- 施設の点検ポイント、港湾施設の劣化し易い箇所を考慮した**点検診断に関する基準の策定**
- 定期点検、補修実績等の**維持管理情報データベースの構築**

【計画】

- 施設のライフサイクルコスト縮減、施設の延命化、的確なストック管理に資する**維持管理計画、予防保全計画の策定等**
- 民間施設の維持管理計画策定の促進**

【実施】

- 維持管理・更新にかかる**工事発注ロットの工夫、適正な積算歩掛りの確立**
- (独)港湾空港技術研究所等研究機関との連携による**技術開発の促進、NETIS※の活用**

※New Technology Information System (新技術情報提供システム)

【その他支援体制など】

- 国、港湾管理者、民間を対象とした**研修、講習会の実施**
- 港湾管理者、民間向けの維持管理に関する**相談窓口の充実**
- 施設所有者及び施設管理者自らの**技術力向上**